

会員へのお知らせトピックス

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

第172回秋季講演大会懇親会のお知らせ（日本金属学会と共催）

9月21日（水）18：30～20：30、於：ホテル阪急エキスポパーク 本館2階「星雲」、事前申込締切：8月22日（月）

<https://www.isij.or.jp/lecture-meeting/2016autumn/>

第26回鉄鋼研究振興助成募集案内

申請期限：7月21日（木） <https://www.isij.or.jp/Josei/shinkou2016.htm>

日本鉄鋼協会研究会Ⅰ 平成29年度募集案内（公募）

申請期限：8月31日（水） <https://www.isij.or.jp/subcommittee/research-society/>

日本鉄鋼協会研究会Ⅱ 平成29年度募集案内（公募）

申請期限：8月31日（水） <https://www.isij.or.jp/subcommittee/research-society/>

平成29年度「鉄鋼協会研究プロジェクト（旧：産発プロジェクト展開鉄鋼研究）募集案内

申請期限：8月31日（水） <https://www.isij.or.jp/subcommittee/researchproject/>

行事等予定	412頁
次号目次案内	418頁
会員欄（入会者・死亡退会者一覧）	419頁
ブックレビュー	417頁
平成27年度事業報告・収支決算および平成28年度事業計画・収支予算	420頁

行事等予定

太字は本会主催の行事。国際会議で○は協会にてサーキュラー等入手できます。

開催期日	行事(開催地／詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2016年7月			
1日	平成28年度日本鉄鋼協会・日本金属学会両北海道支部合同サマーセッション(北海道)	日本鉄鋼協会・ 日本金属学会 両北海道支部	北海道支部事務局 池田賢一 Tel&Fax. 011-706-6348 jim_hokkaido@eng.hokudai.ac.jp
4日	第172回秋季講演大会一般講演・予告セッション・共同セッション・学生ポスターセッション申込締切(5号 266頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
4日	第67回塑性加工技術フォーラム(石川)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
6～8日	第53回アイソトープ・放射線研究発表会(東京)	日本アイソトープ協会	企画運営本部 学術振興部 学術・出版課 杉山 Tel. 03-5395-8081 gakuju@jrias.or.jp http://www.jrias.or.jp
6～8日	第35回電子材料シンポジウム(滋賀)	電子材料シンポジウム運営・実行委員会	産業技術総合研究所 西永慈郎 Tel. 029-861-5042 jiro.nishinaga@aist.go.jp http://ems.jpn.org/
7, 8日	第36回防錆防食技術発表大会(東京)	日本防錆技術協会	第36回防錆防食技術発表大会事務局 Tel. 03-3434-0451 jacc@mbf.sphere.ne.jp
7, 8日	第26回電子顕微鏡大学(東京)	日本顕微鏡学会	電子顕微鏡大学ヘルプデスク jsm-denken@bunken.co.jp http://www.microscopy.or.jp/denken/
7, 8日	平成28年度デジタルラジオグラフィに関する技術講習会—工業分野におけるデジタルラジオグラフィの基礎とその適用—(東京)	日本溶接協会	業務部 佐々木智子 Tel. 03-5823-6324 atom@jwes.or.jp http://www.jwes.or.jp/mt/kenkyu/an/archives/2016/04/post_4.html
7, 8日	HPI技術セミナー「圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎」(東京)	日本高圧力技術協会	Tel. 03-3255-3486 tanaka@hpij.org http://www.jidosya-kaikan.com/map.html
8日	第33回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—中級編(時効析出)」(第3回)(愛知)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp http://www.jilm.or.jp/society/symp_detail.php?ID=110
8日	2016年 日中韓 高層建築フォーラム(東京)	日本鋼構造協会	「日中韓—高層建築フォーラム」係 Tel. 03-5919-1535 JCK-CTBUH-Forum2016@jssc.or.jp http://www.jssc.or.jp/international/index05.html#CTBUH
10～14日	5th International Round Table on Titanium Production in Molten Salts(Ti-RT2016)(北海道)	北海道大学	鈴木亮輔 Tel. 011-706-6339 rsuzuki@eng.hokudai.ac.jp http://www.eng.hokudai.ac.jp/TiRT2016/index.html
11, 12日	平成28年度 デジタルラジオグラフィに関する技術講習会—工業分野におけるデジタルラジオグラフィの基礎とその適用—(大阪)	日本溶接協会	業務部 佐々木智子 Tel. 03-5823-6324 atom@jwes.or.jp http://www.jwes.or.jp/mt/kenkyu/an/archives/2016/04/post_4.html
11～13日	第20回X線分析講習会 蛍光X線分析の実際(第9回)(東京)	日本分析化学会 X線分析 研究懇談会	X線分析講習会ヘルプデスク Tel. 03-3362-9743 jsac-xray@bunken.co.jp http://www.nims.go.jp/xray/xbun/index.htm
12日	第70回技術セミナー(東京)	腐食防食学会	Tel. 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp http://www.jcorr.or.jp/sonota/70gjutsu.html

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
14, 15日	平成28年度 鉄鋼工学セミナー「凝固専科」(神奈川)	日本鉄鋼協会	新日鐵住金(株) 高平信幸 Tel. 0439-50-2888(内線3801) takahira.52f.nobuyuki@jp.nssmc.com
15日	第71回レアメタル研究会(東京)	東京大学 生産技術 研究所	岡部 徹 研究室 学術支援専門職員 宮崎智子 Tel. 03-5452-6314 tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp http://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/index_j.html
20~22日	「メンテナンス・レジリエンスTOKYO 2016」 「生産と設備TOKYO 2016」(東京)	日本能率協会	産業振興センター 江河、香川、瀧浪、石井 Tel. 03-3434-1988 mente@jma.or.jp http://www.jma.or.jp/mente/
20~22日	第43回コロージョン・セミナー(茨城)	腐食防食学会	Tel. 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp http://www.jcorr.or.jp/sonota/43corrosion.html
21日	第26回鉄鋼研究振興助成募集締切	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
21, 22日	第50回X線材料強度に関するシンポジウム(東京)	日本材料学会	船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
21, 22日	第57回塗料入門講座(東京)	色材協会	事務局 Tel. 03-3443-2811 admin@jscm.or.jp http://www.shikizai.org/
23日	鉄鋼プレゼンス研究調査委員会「鉄の技術と歴史」研究フォーラム 第21回公開研究発表会(東京)	日本鉄鋼協会	幹事 佐藤公昭 Fax. 047-443-9208 kera_k_sato@hb.tp1.jp
24~29日	第42回鉄鋼工学セミナー(宮城)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
25日	鉄鋼プレゼンス研究調査委員会 歴史を変える転換技術研究フォーラム 「第36回 歴史を変える転換技術研究会」(東京)	日本鉄鋼協会	立命館大学 山本英嗣 Tel. 077-561-4693 yamasue@fc.ritsumei.ac.jp
25日	腐食防食部門委員会 第311回例会(大阪)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp http://fushoku.jsms.jp/
26, 27日	第215回塑性加工技術セミナー(東京)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
2016年8月			
1日	「鉄と鋼」第103巻第6号特集号「資源自由度拡大に資する鉄鉱石処理 プロセス」投稿締切	日本鉄鋼協会	東北大学 村上太一 Tel. 022-795-4896 taichi@material.tohoku.ac.jp
1, 2日	第46回初心者のための有限要素法講習会(演習付き) 第1部(京都)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
1~5日	第9回環太平洋先端材料とプロセス国際会議(京都)	日本金属学会	pricm_9@nta.co.jp http://web.apollon.nta.co.jp/PRICM9/
2日	第319回塑性加工シンポジウム(愛知)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
3日	鉄鋼を知ろう!「最先端鉄鋼体験セミナー」(茨城 申込締切7月1日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
7~12日	第18回結晶成長国際会議(ICCGE-18)(愛知)	日本学術会議、公益社団法人応用物理学会、日本結晶成長学会、結晶成長国際機構	事務局 Tel. 070-5268-6664 secretariat@iccgel18.jp http://www.iccgel18.jp/
8~10日	混相流シンポジウム2016(京都)	日本混相流学会	土屋活美 Tel. 0774-65-6625 konsosymp@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2016/
8~10日	第216回塑性加工技術セミナー(東京)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
9日	鉄鋼を知ろう!「最先端鉄鋼体験セミナー」(広島 申込締切7月8日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
9, 10日	第25回日本エネルギー学会大会(東京)	日本エネルギー学会	大会係 Tel. 03-3834-6456 taikai25sanka@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/2016/taikai/index.html
23日	第9回 腐食・防食セミナー 「腐食の基本と既存データの活用ー腐食事例への展開と対策」(大阪)	腐食防食学会 関西支部	関西大学 春名 匠 Tel. 06-6368-1121 haruna@kansai-u.ac.jp
23~26日	Dynamics and Design Conference 2016(山口)	日本機械学会	D&D2016実行委員会 渡辺 亨、高崎正也 Tel. 03-5360-3505 dd2016@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/conference/dmccconf16/
25日	第6回講習会「X線反射率法による薄膜・多層膜の解析」(茨城)	応用物理学会 埋もれた界面のX線・中性子解析研究会	物質・材料研究機構 高輝度光解析グループ 桜井健次 Tel. 029-859-2821 SAKURAI.Kenji@nims.go.jp
25, 26日	第46回初心者のための有限要素法講習会(演習付き) 第2部(京都)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
26日	熱切断作業の品質と安全講習会(福岡)	日本溶接協会 全国厚板シェアリング工業組合	業務部 市村 光 Tel. 03-5823-6324 ichimura@jwes.or.jp http://www.jwes.or.jp/mt/senmon/gs/archives/2016/04/28.html
29, 30日	平成28年度 鉄鋼工学セミナー「製鋼熱力学専科」 (東京 申込締切8月5日)	日本鉄鋼協会	新日鐵住金(株) 岡山 敦 Tel. 0479-46-5510 Fax. 0479-46-5142 okayama.rt6.atsushi@jp.nssmc.com
29, 30日	SPRING-8シンポジウム2016(兵庫)	SPRINGユーザー協同体(公財) 高輝度光科学研究センター、理化学研究所、関西学院大学	事務局 Tel. 0791-58-2785 sp8sympo2016@spring8.or.jp http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2016/sp8sympo2016
30日	鉄鋼を知ろう!「最先端鉄鋼体験セミナー」(兵庫 申込締切7月29日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
31日	日本鉄鋼協会 研究会Ⅰ、研究会Ⅱ、鉄鋼協会研究プロジェクト(旧:産 発プロジェクト展開鉄鋼研究) 平成29年度募集締切	日本鉄鋼協会	Ⅰ:学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 Ⅱ:技術企画グループ Tel. 03-3669-5932

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
31~2日	サマースクール2016 in東京 「非線形有限要素法による弾塑性解析の理論と実践」(東京)	日本 計算工学会	事務局 石塚弥生 講習会担当者 寺田賢二郎 Tel. 03-3868-8957 office@jcses.org http://msd.civil.tohoku.ac.jp/nonlinearfem2016/
31~2日	第146回塑性加工工学講座(大阪)	日本塑性加工学会	樋渡俊二 Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
2016年9月			
1, 2日	平成28年度 鉄鋼工学セミナー「溶接・接合科学専科」 (東京 申込締切8月2日)	日本鉄鋼協会	JFEスチール(株) 一宮克行 Tel. 086-447-3961 Fax. 086-447-3939 k-ichimiya@jfe-steel.co.jp
1, 2日	第33回センシングフォーラム 計測部門大会(和歌山)	計測自動制御 学会	センシングフォーラム運営委員会 幹事 篠原寿広 Tel. 0736-77-0345 sinohara@waka.kindai.ac.jp http://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf.html
1~3日	日本実験力学会2016年次講演会(大阪)	日本 実験力学会	近畿大学生物理工科学部 Tel. 0736-77-3888 sawai@mech.kindai.ac.jp http://www.jsem.jp/event/Annual16/
5, 6日	平成28年度 鉄鋼工学セミナー「精錬プロセス解析専科」 (宮城 申込締切8月5日)	日本鉄鋼協会	新日鐵住金(株) 田村鉄平 Tel. 0479-46-5510 Fax. 0479-46-5142 tamura.x74.teppe@jp.nssmc.com
5~7日	平成28年度工学教育研究講演会(大阪)	日本工学 教育協会	事務局 Tel. 03-5442-1021 kawakami@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/mudtyrmbe
5~9日	第5回ICFSMA'16国際会議(強磁性形状記憶材料に関する国際会議) (宮城)	第5回ICFSMA'16 国際会議 組織委員会	東北大学 大森俊洋 Tel. 022-795-7323 icfsma@material.tohoku.ac.jp http://www.material.tohoku.ac.jp/~icfsma/
6, 7日	第32回分析電子顕微鏡討論会(千葉)	日本顕微鏡学 会 分析電子 顕微鏡分科会	九州大学大学院工学研究院 エネルギー量子工学部門 村上恭和 Tel. 092-802-3497 bunseki32@eels.kuicr.kyoto-u.ac.jp http://eels.kuicr.kyoto-u.ac.jp/bunseki2016/
7~9日	日本セラミックス協会第29回秋季シンポジウム特定セッション 「耐火物イノベーション」(広島)	日本セラミッ クス協会	fall29@cersj.org http://www.ceramic.or.jp/ig-syuki/29th/
9, 15, 16日	H28KAST教育講座「塑性力学の基礎コース」 (バルク材加工・熱間加工編)(神奈川、東京)	神奈川科学技 術アカデミー	教育研修グループ 高木友子 Tel. 044-819-2033 ed@newkast.or.jp http://www.newkast.or.jp/kyouiku/edu_h28/ed28_seminar_04.html
12, 13日	平成28年度 鉄鋼工学セミナー「強化機構専科」 (神奈川 申込締切8月5日)	日本鉄鋼協会	新日鐵住金(株) 伊藤栄利 Tel. 080-4602-1329 Fax. 0439-80-2752 ito.q9k.hidetoshi@jp.nssmc.com
13~15日	資源・素材2016(盛岡)(岩手)	資源・ 素材学会	事務局 Tel. 03-3402-0541 info@mmij.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2016b/top
16日	第72回レアメタル研究会(東京)	東京大学 生産技術 研究所	岡部 徹 研究室 学術支援専門職員 宮崎智子 Tel. 03-5452-6314 tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp http://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/index_j.html
21~23日	第172回秋季講演大会(大阪 5号266頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
21日	第172回秋季講演大会懇親会(大阪 日本金属学会と共催)	日本鉄鋼協会	総務グループ Tel. 03-3669-5931
24, 25日	スケジューリング・シンポジウム2016(大阪)	スケジュー リング学会	事務局 Tel. 072-254-6389 iwamura@me.osakafu-u.ac.jp http://www.scheduling.jp/symposium/2016/
26, 27日	平成28年度 鉄鋼工学セミナー「沸騰現象と鋼材の冷却技術専科」 (東京 申込締切8月26日)	日本鉄鋼協会	JFEスチール(株) 木島秀夫 Tel. 043-262-2918 Fax. 043-262-4730 h-kijima@jfe-steel.co.jp
26~29日	平成28年度 修士学生向け「鉄鋼工学概論セミナー」(千葉)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
28~30日	第5回若手研究者および技術者のための高温強度講習会(実習付き) (兵庫)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp http://www.kmtl.co.jp/
2016年10月			
3~6日	第12回エコバランス国際会議EcoBalance2016(京都)	日本LCA学会	事務局 Tel. 03-3503-4681 ecobalance2016@sntt.or.jp http://www.ecobalance2016.org/
6日	ISIJ International特集号「Challenges and Progress of Science and Methodology to Thermophysical Properties of Molten Alloys, Slags and Fluxes at High Temperatures」 「溶融合金、スラグ及びフラックスの高温熱物性計測と科学の挑戦と進歩」投稿締切	日本鉄鋼協会	東北大学 柴田浩幸 Tel. 022-217-5663 Fax. 022-217-5663 Shibata@tagen.tohoku.ac.jp
6, 7日	H28KAST教育講座「基礎から考えるプレス成形加工コース」(東京)	神奈川科学技 術アカデミー	教育研修グループ 高木友子 Tel. 044-819-2033 ed@newkast.or.jp http://www.newkast.or.jp/kyouiku/edu_h28/ed28_seminar_05.html
6, 7日	標準化と品質管理全国大会2016(東京)	日本規格協会	事務局 Tel. 03-4231-8502 http://www.jsa.or.jp/
6~8日	Techno-Ocean2016(兵庫)	Techno-Ocean2016 実行委員会	事務局 岡田、中島、伊藤、羽東 Tel. 078-303-0029 techno-ocean@kcva.or.jp http://www.techno-ocean2016.jp/
11, 12日	第27回初心者のための疲労設計講習会(京都)	日本材料学会	船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp

開催期日	行事(開催地／詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
11～14日	第2回材料WEEK(京都)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp/kaikoku/2zairyoweb.htm
12～14日	トライボロジー会議2016秋 新潟(新潟)	日本トライボロジー学会	井上 滉 Tel. 03-3434-1926 jast@tribology.jp http://www.tribology.jp/
12～14日	修士・博士学生向け「第10回学生鉄鋼セミナー 製鉄・製鋼コース」 (千葉 申込締切7月29日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
14日	第14回フラクトグラフィシンポジウム(京都)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
19, 20日	第39回 鉄構塗装技術討論会(東京)	日本鋼構造協会	古川 健 Tel. 03-5919-1535 k.furukawa@jssc.or.jp http://www.jssc.or.jp/index.html
20～22日	第24回鉄鋼工学アドバンスセミナー(神奈川)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
21～23日	第67回塑性加工連合講演会(埼玉)	日本塑性加工学会	事務局 井上聡美 Tel. 03-3435-8301 inoue@jstp.or.jp
26日	第68回白石記念講座 「変形・強化機構を極めて、新規材料創出に挑め！」(東京)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
26～28日	第52回X線分析討論会(東京)	日本分析化学会X線分析研究懇談会	物質・材料研究機構高輝度光解析グループ 桜井健次 sakurai@yuhgiri.nims.go.jp
26～29日	第57回高圧討論会(茨城)	日本高圧力学会	事務局 Tel. 070-5658-7626 touronkai57@highpressure.jp http://www.highpressure.jp/new/57forum/
31～2日	第5回革新的原子力エネルギーシステム国際シンポジウム、The Fifth International Symposium on Innovative Nuclear Energy Systems (INES-5)(東京)	東京工業大学 原子炉工学研究所	加藤之貴 Tel. 03-5734-2967 yukitaka@nr.titech.ac.jp http://www.crienes.titech.ac.jp/ines5/
31～2日	修士・博士学生向け「第10回学生鉄鋼セミナー 材料コース」 (兵庫 申込締切7月29日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
2016年11月			
1～4日	The 11th International Symposium on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics(11th ISEM '16-Ho Chi Minh, Vietnam)	日本実験力学会	Ho Chi Minh City University of Technology, Dr Nguyen Minh Tam +84-8-38-647-256 ext.5590 nmtam@hcmut.edu.vn
9日	第227回西山記念技術講座 「鉄鋼の製造プロセスを革新し続けるセンシング技術」(大阪)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
10～12日	第59回自動制御連合講演会(福岡)	日本機械学会	rengo59@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/conference/rengo59/
11, 12日	第33回疲労シンポジウム、第1回生体・医療材料シンポジウム(兵庫)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
16～18日	第6回次世代ものづくり基盤技術産業展 —TECH Biz EXPO 2016—(愛知)	名古屋国際見本市委員会	事務局 Tel. 052-735-4831 http://techbizexpo.com/outline/index.html
17, 18日	平成28年度 鉄鋼工学セミナー「熱力学的原理に基づく製鉄プロセスの解析と演習(Ristモデル)専科」(東京 申込締切10月14日)	日本鉄鋼協会	新日鐵住金(株) 折本 隆 Tel. 0439-80-4164 Fax. 0439-80-2742 orimoto.m3h.takashi@jp.nssmc.com
21, 22日	日本学術振興会—第172委員会—第10回状態図・熱力学セミナー(東京)	日本学術振興会・第172委員会	阿部太一 Tel. 029-859-2628 ABE.Taichi@nims.go.jp http://j2www.materiat.titech.ac.jp/seminar/(準備中)
25日	第73回レアメタル研究会(東京)	東京大学 生産技術研究所	岡部 徹 研究室 学術支援専門職員 宮崎智子 Tel. 03-5452-6314 tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp http://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/index_j.html
25日	第228回西山記念技術講座 「鉄鋼の製造プロセスを革新し続けるセンシング技術」(東京)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
28～30日	第37回日本熱物性シンポジウム(岡山)	日本熱物性学会	実行委員会 Tel. 086-251-8048 haruki@okayama-u.ac.jp http://jstp2016.ss.oka-pu.ac.jp/
30～2日	国際粉体工業展東京2016(東京)	日本粉体工業技術協会	展示会事務局 シー・エヌ・ティ Tel. 03-5297-8855 info2016@powtex.com http://www.powtex.com/tokyo/
2016年12月			
5, 6日	平成28年度 鉄鋼工学セミナー「材質制御専科」 (東京 申込締切11月7日)	日本鉄鋼協会	日新製鋼(株) 藤原 進 Tel. 0823-25-8278 Fax. 0823-25-8277 fujiwara.s366@nissin-steel.co.jp
5～7日	第42回個体イオニクス討論会(愛知)	第42回個体イオニクス学会	事務局 Tel. 059-231-9419 ssij42@chem.mie-u.ac.jp
7日	エコデザイン・プロダクツ&サービスシンポジウム2016(東京)	エコデザイン学会連合	エコデザイン推進機構/エコデザイン学会連合事務局 Tel. 03-5840-8141 secretariat@ecodenet.com

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
15, 16日	第15回 評価・診断に関するシンポジウム(京都)	日本機械学会	京都工芸繊維大学 増田 新 Tel. 075-724-7381 masuda@kit.ac.jp http://diagnosis.dynamics.mech.eng.osaka-cu.ac.jp/ (準備中)
2017年1月			
6日	第74回レアメタル研究会(東京)	東京大学 生産技術 研究所	岡部 徹 研究室 学術支援専門職員 宮崎智子 Tel.03-5452-6314 tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp http://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/index_j.html
2017年2月			
28日	ISIJ International 特集号「Challenge and progress of process technology and fundamental research for the promotion of lime dissolution into slag」[生石灰滓化促進に向けたプロセス技術への挑戦と基礎研究の展開]投稿締切	日本鉄鋼協会	東京工業大学 小林能直 Tel.090-5515-2202 Fax. 03-5734-3075 kobayashi.y.at@m.titech.ac.jp
2017年3月			
10日	第75回レアメタル研究会(東京)	東京大学 生産技術 研究所	岡部 徹 研究室 学術支援専門職員 宮崎智子 Tel.03-5452-6314 tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp http://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/index_j.html
15~17日	第173回春季講演大会(東京)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
2017年6月			
18~22日	5th International Conference on Steels in Cars and Trucks (SCT2017) (Amsterdam-Schiphol, The Netherlands)	Steel Institute VDEh	TEMA Technologie Marketing AG info@sct2017.com http://www.sct2017.com
2017年9月			
6~8日	第174回秋季講演大会(北海道)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
2017年10月			
11~13日	○鉄鋼分野におけるエネルギーと材料の効率化、二酸化炭素削減に関する国際会議(International Conference on Energy and Material Efficiency and CO ₂ Reduction in the Steel Industry(EMECR 2017))(神戸)	日本鉄鋼協会	EMECR2017 Secretariat c/o ISS, INC. emecr2017@issjp.com http://www.emecr2017.com/index.html
2017年11月			
5~10日	第18回材料集合組織国際会議(18th International Conference on Textures of Materials(ICOTOM 18))(St George, Utah, USA)	Stuart Wright(EDAX), David Fullwood(Brigham Young Univ.) and Matthew Nowell(EDAX)	大阪府立大学 井上博史(ICOTOM国際委員) inoue@mtr.osakafu-u.ac.jp http://event.registart.com/site/icotom2017/
12~16日	○第11回亜鉛および亜鉛合金めっき鋼板に関する国際会議(11th International Conference on Zinc and Zinc Alloy Coated Steel Sheet(Galvatech2017))(東京)	日本鉄鋼協会	Galvatech2017 Secretariat c/o ICS Convention Design, Inc. galvatech2017@ics-inc.co.jp



ブックレビュー

磁石の発明特許物語－六人の先覚者－

鈴木 雄一 著

アグネ技術センター 2015年6月発行

A5版 128頁 定価 本体2,000円+税 Tel. 03-3409-5329

KS鋼、MK鋼、NKS鋼、FW鋼、フェライト磁石そしてネオジム磁石まで6種類の誰もが知っている磁石について、開発された経緯や世界に認められていく様子を、特許を中心として記述するスタイルを取ったユニークな技術史の本である。特許文献を日本ばかりでなく海外に出願された特許まで丁寧に追いかけて、巻末にはそれらに関する膨大な特許リストが磁石ごと整理されており、これだけでも資料的価値が十分にある。また、本書にはKS鋼やMK鋼などの特許のトップページが紹介されているが、それらは近代日本を作ってきた技術文献という歴史的価値もあるように思う。さらに、日本で最初に職務発明の規定をした研究所がKS鋼を発明された本多光太郎先生が所長を務めていた東北大学金属材料研究所であったことや特許申請や周辺技術開発が終わるまで論文発表を控えていたMK鋼の三島徳七先生の話などが紹介されており、大学人でありながら特許が非常に重視されていた時代のことも改めて知ることができる。企業人にも大学人にも刺激になる一冊となろう。一読されたい。

((株) 神戸製鋼所 技術開発本部 材料研究所 難波茂信)

ブックレビュー

X線分析の進歩 47 (X線工業分析 51集)

日本分析化学会 X線分析研究懇談会編

アグネ技術センター 2016年3月発行

B5版 472頁 定価5,500円+税 Tel. 03-3409-5329

本書は毎年1回出版されており、X線を利用した分析に関する研究論文等が掲載されている。冒頭では、分析分野で大きな功績があり昨年逝去された鎌田仁先生の追悼記事が、分析技術の歴史とともに書かれている。総説・解説では、個人的な研究経歴等に関する記事からマスコミに出てくるX線分析関連の話題についての記事まで、多岐にわたる興味深い記事が出ている。原著論文には、X線吸収分光法、蛍光X線分析法、X線回折法等を様々な物質材料の分析に利用した多くの例が出ており、それぞれが注目すべき最新の成果と言える。X線分析関連の国際会議報告が写真とともに掲載されており、この分野の世界の動向も知ることができる。幾つかのX線関連の新刊も紹介されており、これらも大変参考になる。X線は手軽に使える装置から大型放射光施設まで利用されており、さらに宇宙からのX線の検出や歴史研究のための非破壊的なX線分析なども含めると、X線は社会の様々な場面で出てくる。本書はそれらの多くの話題を提供しており、「X線分析」の幅の広さ、「レントゲンの偉業」の大きな展開が感じられる。本書は、X線分析の専門家だけでなく、一般の読者にも関心がもてる内容である。是非、一読を勧めたい。

(東北大学 多元物質科学研究所 鈴木 茂)

次号目次案内

* 定期刊行物の掲載記事及び題目は変更になる場合があります。

ふえらむ Vol.21 (2016) No.8 掲載記事

Techno Scope

社会インフラを守るロボット技術の開発

連携記事

橋梁点検に対するドローン適用の期待と課題
..... 金平徳之(川田テクノロジー(株))

名誉会員からのメッセージ

最近の高Cr耐熱鋼の進歩
..... 藤田利夫(東京大学)

学術功績賞記念特別講演

合金の凝固過程のモデル化と組織形態の特性評価
..... 大笹憲一(秋田大学)
Fe基およびCo基超弾性合金におけるfcc (fct) マルテンサイトの
の相安定性
..... 貝沼亮介(東北大学)
破壊靱性に及ぼす転位の効果
..... 東田賢二(九州大学)

入門講座

鉄鋼の試験/評価-2

鉄鋼材料の評価に活躍する硬さ試験—硬さ試験の基礎—
..... 山本正之((株)山本科学工具研究社)

躍動

鉄鋼上工程計測への挑戦
..... 迫田尚和((株)神戸製鋼所)

私の論文

三次元熱間曲げ焼入れ加工のモデル化への挑戦
..... 窪田紘明(新日鐵住金(株))

解説

研究会成果報告-10

高強度鋼破壊靱性研究の動向と将来展望
..... 栗飯原周二(東京大学)

「鉄と鋼」Vol.102 (2016) No.8 掲載記事

製鉄

酸化鉄の還元挙動に与える木質バイオマス(木炭)の影響
..... 小暮 聡、他
高炉下部におけるプラスチック粒子の移動挙動
..... 村井亮太、他

製鋼

機械攪拌式溶銑脱硫における脱硫剤投射技術
..... 中井由枝、他

加工・加工熱処理

純鉄および低炭素機械構造用鋼S10Cの切削面と構成刃先の創
成メカニズム
..... 橋村雅之、他
熱延潤滑における油膜挙動解明への数値解析によるアプローチ
..... 松原行宏、他

相変態・材料組織

Nb添加極低炭素鋼板の再結晶核の成長挙動
..... 奥田金晴、他

ISIJ International Vol.56 (2016) No.8 掲載記事

Fundamentals of High Temperature Processes

Effect of the chromium content and argon bubbling in the carbon removal rate from low carbon liquid steel under reduced pressure condition
T. Inomoto *et al.*
Interaction of New Zealand ironsand and flux materials
Z. Wang *et al.*
Role of Al₂O₃ in interfacial morphology and reactive wetting behaviour between carbon-unsaturated liquid iron and simulant coke substrate
C.-S. Nguyen *et al.*
Degree of undercooling and wettability behavior of liquid steel on single-crystal Al₂O₃ and MgO substrate under controlled oxygen partial pressure
X. Luo *et al.*
Coupled effect of valuable components in high-chromium vanadium-bearing titanomagnetite during oxidization roasting
J. Tang *et al.*
Selective separation of perovskite (CaTiO₃) from titanium bearing slag melt by super gravity
J. Gao *et al.*

Ironmaking

Unsteady analyses of the top gas recycling oxygen blast furnace W. Zhang *et al.*

Steelmaking

A mathematical model of desulphurization kinetics for ultra-low-sulfur steels refining by powder injection during RH processing C. Zhu *et al.*

Casting and Solidification

Prediction of microsegregation in Fe-C-Cr ternary alloys using a cellular automaton model with a triple-layered multi-grid method Y. Natsume

A novel single power two circuits electroslag remelting with current carrying mould Y. Dong *et al.*

Mathematical analysis of the dynamic effects on the deposition of alumina inclusions inside the upper tundish nozzle E. Gutiérrez *et al.*

An experimental and numerical study of swirling flow generated by turboswirl in an uphill teeming ingot casting process H. Bai *et al.*

Mechanism for complex morphology due to mechanical vibration E. Aritaka *et al.*

Generation of heterogeneous nucleus in carbon steel during solidification by magnesium vapor injection H. Mizukami *et al.*

Large-scale phase-field studies of three-dimensional dendrite competitive growth at the converging grain boundary during directional solidification of a bicrystal binary alloy T. Takaki *et al.*

Chemical and Physical Analysis

Effects of acid and Na_2SiO_3 modification on the dissolution behavior of $2\text{CaO}\cdot\text{SiO}_2\cdot 3\text{CaO}\cdot\text{P}_2\text{O}_5$ solid solution in aqueous solutions C. Du *et al.*

Determination of alloying and impurity elements from matrix and inclusions from a process sample of a double stabilized stainless steel T. Sipola *et al.*

Forming Processing and Thermomechanical Treatment

Cylindrical cup manufacturing using 12mm thick circular blanks of AISI 1040 graded medium carbon steel : an innovative approach A. K. Parida *et al.*

Effect of $\{110\} \langle 229 \rangle$ and $\{110\} \langle 112 \rangle$ grains on texture evolution during cold rolling and annealing of electrical steel N. Zhang *et al.*

Surface Treatment and Corrosion

Optimized Cr in reinforcement steel for high corrosion resistance in simulated pore solution by electrochemical and cyclic corrosion tests A. K. Singh *et al.*

Mechanical Properties

Notch sensitivity of the fatigue limit in high-strength steel Y. Hamano *et al.*

Social and Environmental Engineering

Total material requirement of scrap steel from end-of-life vehicles E. Yamasue *et al.*

Bioassay of components eluted from electric arc furnace steel slag using microalgae chlorella T. Takahashi *et al.*

Fundamentals of High Temperature Processes

Evaluation of local dissolution rates and wetting behaviors of solid alumina in liquid slag with the marangoni number (Note) Y. Ueshima

会員欄

新規入会

LEE,
Hae-Geon
逢坂 彰太
石倉 正貴

石黒 雄也
石山 勇二
井上 裕行
岩瀬 二郎
柏原 司
蒲池 直樹
高 仁植
作本 興太
佐藤 貴俊

茂渡 悠介
篠原 匠
清水 健明
清水 基志
鈴木 豪
鈴木 拓哉
妹尾 賢三
多川 友生
田丸 博夫

千田 麗太
塚本 昇
中川 陽介
中澤 孝行
中嶋 正人
中島 悠貴
西村 堅一郎
西村 信也
野口 恵太

濱本 朋久
林 義博
久田 光夫
福田 奈朗也
福山 博之
淵上 太一
舟金 仁志
堀 信弘
堀 秀幸

堀井 義秀
前田 雅人
真島 隆浩
溝口 博之
三枝 純己
向山 瑛彦
望月 翔平
安川 雅彦
吉原 敦

ご冥福をお祈り
申し上げます。
山田 和広

平成27年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業報告・収支決算 (平成27年3月1日～平成28年2月29日) および 平成28年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業計画・収支予算 (平成28年3月1日～平成29年2月28日)

平成28年4月27日に開催されました一般社団法人日本鉄鋼協会定時社員総会において、標記報告等が承認されました。以下にその概要をお知らせします。

Ⅰ. 平成27年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業報告・収支決算 (H27.3.1～H28.2.29)

平成27年度は、平成25年度を初年度とする中期財務計画の最終年であった。活動内容としては、(1) 協会基本活動の活性化、(2) 鉄鋼の学術・技術の活性化、(3) 人材育成、(4) 他学協会との連携強化、(5) 政府の科学技術・産業技術政策への対応、(6) 内外へのプレゼンスの強化、等の実施に重点を置いた事業活動を展開した。

1. 協会基本活動の活性化

会員数、講演大会発表件数、論文誌への投稿論文数の増大を学協会の基本活動として重点を置いている。

会員数はリーマンショック後の景気変動の影響も受け、微減傾向が続いている。平成27年度末時点で個人会員総数で8,720名(前年度末8,800名)、うち正会員7,689名(前年度末7,792名)、また維持会員169社(前年度末166社)である。また、60歳以上の会員の増加を目的に21年から導入されたシニア会員制度は179名(前年度末168名)が活用している。

平成27年度の春季講演大会は東京大学で、秋季講演大会は九州大学で開催された。講演大会での研究発表件数は一般講演春季大会329件、秋季大会407件、討論会春季大会4テーマ26件、秋季大会6テーマ43件、国際セッション春季大会はなし、秋季大会3テーマ27件であった。登録参加者は、春季大会1,336名、秋季大会1,341名であった。学生ポスターセッションの発表は春季大会77件、秋季大会88件であった。

論文の状況は、1～12月の合計で、投稿論文数は「鉄と鋼」111(前年139)件、「ISIJ Int.」663(前年774)件、同様に掲載論文数は「鉄と鋼」89(前年176)件、「ISIJ Int.」355(前年398)件であった。「鉄と鋼」は前年が第100巻記念特集号ということで掲載数が大幅に増加したが、その反動で本年は減少している。

2. 鉄鋼の学術・技術の活性化

新規研究として、研究会Ⅰは「高度循環製鉄に向けた鋼中遷移金属・循環元素の熱力学」、「スマート製鉄システム」、「先進的多軸応力試験による鋼板成形の高度化」、「鉄系金属ガラスの粘性流動成形技術開発」、「水素脆化の基本要因と特性評価」の5件、研究会Ⅱは「新規コークス製造プロセス要素技術」の1件、産発プロジェクト展開鉄鋼研究は「鋼の脆性き裂伝播挙動機構理解深化とLNG貯槽次世代材料設計指針提案」の1件を開始した。

継続研究として、研究会Ⅰは7件、研究会Ⅱは5件、産発プロジェクトは1件、を実施した。

鉄鋼研究振興助成については、前年度に採択決定した36件に

ついて助成を行った。

平成28年度に向けて、研究会Ⅰを5件、研究会Ⅱを3件、鉄鋼研究振興助成36件の採択を行った。

3. 人材育成

- 1) 学生育成として、企業経営幹部による大学特別講義は10大学で実施された。また、従来の経済産業省による大学特別講義に企業講師を加え、新たに始めた鉄鋼技術特別講義も12大学で実施された。学生鉄鋼セミナーは2コースが実施され37名の参加、修士学生向け鉄鋼工学概論セミナーは23名、学部学生向け最先端鉄鋼体験セミナーは、新日鐵住金君津34名、神鋼加古川19名、大同知多12名、新日鐵住金室蘭13名の参加であった。学部学生の製鉄所見学は15回実施され、総計約585名が参加した。
- 2) 企業人材育成として、41回目となる蔵王での鉄鋼工学セミナー(168名参加)が開催されたほか、鉄鋼工学セミナー専科については、凝固、精錬プロセス解析、強化機構、水素脆化、沸騰現象と鋼材の冷却技術、材質制御、の6テーマ(101名参加)、23回目となる鉄鋼工学アドバンスセミナー(33名参加)が開催された。
- 3) 西山記念技術講座では、「鋼板圧延技術の系譜(圧延品質に影響を与える周辺技術)」及び「表面処理鋼板の技術展開」をテーマに開催した。また、白石記念講座は「新しい世紀の形態計量学—数学と鉄鋼研究のコラボレーション—」をテーマに開催した。これらの技術講座に総計約310名が参加した。
- 4) JABEE 技術者教育プログラム認定活動の一貫として、材料および材料関連分野審査会等を開催した。

4. 他学協会等との連携強化

日本金属学会との講演大会相互聴講を実施した。また日本鉄鋼連盟をはじめとして鉄鋼環境基金、鉄鋼スラグ協会、日本鋼構造協会と「鉄鋼関連助成事業連絡会」を2回開催した。さらに日本鋼構造協会と「社会インフラ分野技術開発課題検討懇談会」を開催すると共に、生産技術部門に建設用鋼材利用検討WGを設立した。

5. 政府の科学技術政策・産業技術政策への対応

日本鉄鋼協会が提案した科学技術振興機構の産学共創基礎基盤技術開発制度「ヘテロ構造制御金属材料プロジェクト」の支援、政府の未来開拓研究制度での構造材料研究について必要な協力・支援を行った。

6. 内外へのプレゼンスの強化

- 1) 春季講演大会において経営トップ特別講演として川崎博也(株)神戸製鋼所代表取締役社長が「神戸製鋼の複合経営と技術戦略」と題する講演を実施した。
- 2) 創立100周年記念国際会議として10月に「Asia Steel 2015」を開催した(参加者数436名、参加国23ヶ国、発表件数317件)。
- 3) 創立100周年を記念し、昨年の「第5版鉄鋼便覧」(全6巻)に続き「新版鉄鋼材料と合金元素」を発刊した。
- 4) 日本学術振興会の科研費補助金により「鉄鋼・材料系ジャーナルサイトのプラットフォーム機能強化による国際情報発信力向上」事業を平成27年度からの5カ年事業として開始した。

Ⅱ. 平成27年度決算 貸借対照表

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
I	資産の部			
1.	流動資産			
	現金預金	163,418,812	129,312,273	34,106,539
	未収金	1,597,000	1,414,000	183,000
	未収金費	8,779,488	6,154,252	2,625,236
	仮払金	387,849	151,507	236,342
	前払金	6,628,321	7,690,243	△ 1,061,922
	立替金	0	23,300	△ 23,300
	有価証券	40,942,288	40,934,401	7,887
	棚卸資産	28,140,733	28,015,811	124,922
	流動資産合計	249,894,471	213,695,787	36,198,684
2.	固定資産			
	(1) 基本財産			
	定期預金	11,599,912	11,599,912	0
	基本財産合計	11,599,912	11,599,912	0
	(2) 特定資産			
	退職給付引当資産	214,473,565	199,599,596	14,873,969
	特別資金	502,837,776	499,122,445	3,715,331
	鉄鋼研究振興資金	896,935,895	897,831,576	△ 895,681
	学会部門事業積立資産	48,150,875	48,150,875	0
	生産技術部門事業積立資産	0	2,268,598	△ 2,268,598
	国際会議文書積立資産	6,795,428	8,733,493	△ 2,008,065
	事業強化積立資産	43,398,993	38,433,624	4,965,369
	記念100周年事業積立資産	0	19,684,577	△ 19,684,577
	創立100周年事業積立資産	0	1,500,000	△ 1,500,000
	特定資産合計	1,712,522,532	1,715,324,784	△ 2,802,252
	(3) その他固定資産			
	什器備品	799,928	1,194,885	△ 394,957
	ソフトウェア	5,508,568	5,953,814	△ 445,246
	敷金	8,486,320	8,486,320	0
	その他固定資産合計	14,794,816	15,635,019	△ 840,203
	固定資産合計	1,738,917,280	1,742,559,715	△ 3,642,435
	資産合計	1,988,811,731	1,956,255,502	32,556,229
II	負債の部			
1.	流動負債			
	未払金	20,628,115	11,065,842	9,562,273
	未払消費税等	7,473,500	12,472,700	△ 4,999,200
	前受金	107,632,114	109,550,846	△ 1,918,732
	預り金	1,382,879	1,358,279	24,600
	仮受金	14,855	92,520	△ 77,665
	貸与引当金	8,200,000	8,200,000	0
	流動負債合計	145,331,463	142,740,187	2,591,276
2.	固定負債			
	退職給付引当金	214,473,565	199,599,596	14,873,969
	固定負債合計	214,473,565	199,599,596	14,873,969
	負債合計	359,805,028	342,339,783	17,465,245
III	正味財産の部			
1.	指定正味財産			
	特別資金	324,030,000	324,030,000	0
	鉄鋼研究振興資金	635,000,000	635,000,000	0
	指定正味財産合計	959,030,000	959,030,000	0
	(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
	(うち特定資産への充当額)	(959,030,000)	(959,030,000)	(0)
2.	一般正味財産			
	(うち基本財産への充当額)	669,976,703	654,885,719	15,090,984
	(うち特定資産への充当額)	(11,599,912)	(11,599,912)	(0)
	(539,018,967)	(536,695,188)		
	正味財産合計	1,629,006,703	1,613,915,719	15,090,984
	負債及び正味財産合計	1,988,811,731	1,956,255,502	32,556,229

(単位：円)

実施事業資産は、以下のとおりである。

特別資金
鉄鋼研究振興資金
合計

正味財產增減計算書

目 録				
一般経常増減の部				
1. (1) 経常収益				
特定資産受取利息	15,886,849	14,553,847		
受取入会金	461,706	488,600		
受取入会費	75,857,715	76,493,852		1,303,002
受取個人入会費	434,335,000	434,335,000		△ 36,900
受取会費	99,999,703	121,769,322		△ 30,769,619
受取区域販売料	4,465,372	4,570,372		△ 105,000
受取広告料	3,443,500	3,443,500		0
受取手数料	3,160,621	4,142,396		△ 981,775
受取オーナー入会活動収益	1,868,728	1,225,956		△ 642,772
受取手数料	1,615,492	1,740,359		△ 124,866
受取補助金等	8,227,184	7,727,184		△ 500,000
受取受託金	2,500,000	6,400,000		△ 3,900,000
受取入金	500,000	500,000		0
有価証券償還益	0	120,000		△ 120,000
有価証券売却益	37,627	53,702		△ 16,075
受取利息	111,112	111,112		0
受取事務所賃金	639,259,936	715,897,274		△ 76,637,338
(2) 経常収益				
事務所賃金	135,977,844	141,416,839		△ 5,438,995
退職給付費用	13,089,094	12,847,980		△ 241,111
事務所管理費	55,133,967	55,980,500		△ 846,533
事務所管理費	25,134,335	25,980,500		△ 846,165
研究費	161,470,000	169,470,000		△ 8,000,000
会費・会費	30,137,039	37,999,471		△ 7,862,441
通信・会費	14,868,618	16,630,721		△ 1,762,103
減価償却費	2,293,315	1,917,308		△ 376,007
減価償却費	171,705	184,941		△ 13,236
減価償却費	17,199,203	17,847,837		△ 648,634
印刷製版費	61,138,368	50,160,354		△ 10,978,014
印刷製版費	3,272,611	4,353,529		△ 1,080,918
刊行出版物印刷前	28,010,811	28,001,916		△ 8,945
刊行出版物印刷前	28,140,726	28,140,726		0
刊行出版物印刷前	16,887,429	14,503,717		△ 2,383,712
印刷製版費	1,825,755	1,853,680		△ 27,925
印刷製版費	17,295,608	21,194,481		△ 3,898,873
印刷製版費	55,133,967	55,980,500		△ 846,533
印刷製版費	35,341,075	35,341,075		0
印刷製版費	179,476	169,059		△ 10,417
印刷製版費	1,825,000	2,000,000		△ 175,000
印刷製版費	1,825,000	2,000,000		△ 175,000
印刷製版費	7,713,311	8,970,069		△ 1,256,758
印刷製版費	15,904,189	10,311,801		△ 5,592,388
印刷製版費	637,882,357	675,524,415		△ 37,642,058
(3) 経常費用				
事務所賃金	19,414,724	14,553,847		△ 4,860,877
退職給付費用	19,414,724	14,553,847		△ 4,860,877
事務所管理費	2,452,898	2,429,856		△ 23,042
事務所管理費	3,679,091	3,526,675		△ 142,416
事務所管理費	1,301,826	1,679,785		△ 377,959
通信運搬費	1,709,585	1,672,683		△ 36,902
通信運搬費	1,384,796	1,010,517		△ 374,279
印刷製版費	39,399	37,769		△ 1,630
印刷製版費	571,768	522,129		△ 49,639
印刷製版費	139,426	175,909		△ 36,483
印刷製版費	30,937	3,545,907		△ 3,514,970
印刷製版費	4,129,895	3,105,815		△ 1,024,080
印刷製版費	7,463,469	3,618,568		△ 3,844,901
印刷製版費	368,922	319,098		△ 49,825
印刷製版費	7,500	8,500		△ 1,000
印刷製版費	81,200	81,200		0
印刷製版費	63,028	63,028		0
印刷製版費	46,477,349	47,727,249		△ 1,249,900
印刷製版費	77,720,515	77,720,515		0
印刷製版費	19,414,724	14,553,847		△ 4,860,877
印刷製版費	169,700	128,400		△ 41,300
印刷製版費	15,024,985	15,024,985		0
印刷製版費	710,301	710,301		0
(4) 経常外収益				
固定資産売却損	0	0		0
固定資産除却損	△	0		△
当増一般正味財産増減	△	△ 710,341		15,301,825
当増一般正味財産増減	634,888,716	635,586,500		△ 697,783
当増一般正味財産増減	929,270,703	924,059,719		5,210,984
一般正味財産増減	929,270,703	924,059,719		5,210,984
当増指定正味財産増減	0	0		0
当増指定正味財産増減	849,034,000	849,034,000		0
当増指定正味財産増減	1,829,068,703	1,813,815,719		15,252,984
正味財産増減				15,252,984

Ⅲ. 平成28年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業計画・収支予算 (H28.3.1 ~ H29.2.28)

日本経済は足踏み状態が続いている。国内鉄鋼需要産業の関連指標をみると、一服感がみられた住宅着工が再び持ち直し傾向を辿りつつある一方、土木は公共工事の減速から低迷している。製造業では、自動車は普通車を中心に回復しつつあるものの、産業機械は外需の停滞を受けて多くの機種で前年実績割れが続いている。こうしたなか、我が国の粗鋼生産量は平成27暦年では1億515.2万トン（前年比5.0%減）となった。今後とも、国内外の各種指標が弱含む中、国内製造業は新興国の景気減速による輸出の鈍化を背景に、下振れリスクを抱えている。さらに中国の高水準な鋼材輸出から世界的な需給緩和がさらに進み、各地で通商問題が頻発しており、加えて、原油安に伴うエネルギー関連鋼材需要の回復遅れなど、日本鉄鋼業を取り巻く環境は厳しさを増している。

鉄鋼技術においても、中国、韓国等新興国の追い上げは厳しさを増し、生産能力のみならず、品質面、技術面でも向上が著しく、世界のトップを走る我が国としては産官学を挙げてその地位を確保することが大きな課題である。

大学では、足の長い構造材料研究に対する危機感が共有される中、鉄鋼研究のベースを確保することは喫緊の課題である。また、大学での人材育成への産側のニーズは高いが、大学教育の流れの中できめ細かい鉄鋼技術教育を期待することが困難な状況となっている。こうした状況の中、産学が問題を共有し、鉄鋼に係る新技術開発、人材育成、イノベーションを可能とする社会システムの改革を促進するべく鉄鋼協会の活動を進める。

このため、鉄鋼協会の活動をそれ自体で完結することなく、協会の伝統である産学連携活動をベースとして文部科学省、経済産業省等の政策主体、大学・独法等の研究教育機関、関連団体、企業活動との連携を深め、コストパフォーマンスの高い協会活動を指向する。

これらを踏まえ、平成28年度の本会活動としては、次の6項目の事業の実施に重点をおいた事業活動を展開する。

具体的な施策

1. 協会基本活動の活性化

学会部門、生産技術部門および関係委員会等の連携・協調のもと、会員数、講演大会発表件数、論文誌への投稿数の増加といった学協会としての基本的活動の強化・充実を図る。また会員サービスの向上とともに協会活動を支える協会の管理・情報システムの改善を図る。

2. 鉄鋼の学術・技術の活性化

- 1) 学会部門と生産技術部門との連携強化をベースとして、新しい研究課題の発掘・発信を図る。

- 2) 学会部門ではフォーラム活動や研究会の充実、理学等も含めた新たな学術シーズの取り込みを進める。
- 3) 生産技術部門では分野別の技術部会活動を中心に、機動的、弾力的運営を行い、関連境界領域での課題にも取り組む。

3. 人材育成

- 1) 平成23年度から開始した「修士学生向け鉄鋼工学概論セミナー」、「学部学生向け最先端鉄鋼体験セミナー」、「企業経営幹部による大学特別講義」、平成26年度から開始した企業技術系幹部による「鉄鋼技術特別講義」の円滑な推進・更なる充実を図る。
- 2) 企業技術者の育成事業である「鉄鋼工学セミナー・専科」、「アドバンストセミナー」は企業の人材ニーズに対応した展開を図る。また、鉄鋼工学セミナーを活用した大学教育の定点観測調査を継続する。
- 3) 西山記念技術講座・白石記念講座等はニーズを踏まえたタイムリーな企画を進め、内容充実を図る。
- 4) JABEE（日本技術者教育認定機構）と連携し、高等教育機関等の教育プログラムの改善・向上に貢献する。

4. 他学協会等との連携強化

- 1) 日本鉄鋼連盟、鉄鋼環境基金、日本鋼構造協会、鉄鋼スラグ協会、金属系材料研究開発センター（JRCM）等、関係団体と研究助成、人材育成等の面で連携強化のための協議を継続・推進する。
- 2) 日本金属学会、日本熱処理技術協会等、関係の学協会との協力推進について協議を進める。

5. 政府の科学技術・産業技術政策への対応

- 1) 政府で推進している構造材料技術開発プロジェクトの円滑な推進に向けて協力する。
- 2) 科学技術振興機構（JST）の産学共創基礎基盤研究「ヘテロ構造制御金属材料プロジェクト」の開発については技術テーマの提案組織の一員として積極的に協力を行い、同プロジェクトの成功を期する。
- 3) 材料戦略委員会活動、日本学術会議とも連携し、材料分野の学術・技術政策の充実を図る。

6. 内外への情報発信力の強化等

- 1) 講演大会時の経営トップ特別講演を進めるとともに大会を活用した情報発信強化策を検討する。
- 2) 二国間シンポジウムとして9月に第14回日本・中国鉄鋼学術会議を仙台にて開催する。
- 3) 日本学術振興会の科研費補助金により「鉄鋼・材料系ジャーナルサイトのプラットフォーム機能強化による国際情報発達力向上」事業を平成27年度から31年度までの5年計画で推進する。
- 4) 協会に蓄積する各種研究・技術情報の電子化を更に推進する。

IV. 平成28年度収支予算
収支予算書（損益ベース）

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	差	異
I 一般運財経費等の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
神宮財産運用収益	8,050,000	11,882,000	△ 3,812,000	
受取利息	420,000	405,000	△ 36,000	
受取入会金	76,248,000	77,117,000	△ 869,000	
受取会費	434,000,000	434,000,000	0	
事業収益	67,170,000	80,346,000	△ 13,176,000	
受取図書出版料	32,155,000	32,155,000	0	
受取手数料	32,015,000	44,487,000	△ 12,842,000	
受取分租金	2,906,000	2,906,000	0	
受取フットワーク活動収益	1,320,000	1,380,000	△ 40,000	
受取雑収入	936,000	517,000	△ 419,000	
受取補助金等	3,000,000	400,000	△ 2,600,000	
受取委託金	300,000	3,400,000	△ 3,100,000	
受取寄付金	500,000	500,000	0	
雑収益	50,000	65,000	△ 15,000	
受取利息	130,000	110,000	△ 20,000	
受取雑収入	130,000	110,000	△ 20,000	
経常収益計	630,767,000	660,714,000	△ 29,947,000	
(2) 経常費用				
事業経費	142,017,000	141,935,000	82,000	
経費手当返	4,884,000	4,884,000	0	
退職給付費用	18,361,000	16,620,000	△ 1,741,000	
福利厚生費	150,350,000	150,350,000	0	
研修費	150,350,000	150,350,000	0	
会費・会費徴収	23,153,000	31,150,000	△ 7,997,000	
庶務交通費	39,606,000	44,715,000	△ 5,109,000	
庶務雑費	12,538,000	16,484,000	△ 3,946,000	
経費雑費	1,420,000	1,283,000	△ 246,000	
部会活動費	18,500,000	15,200,000	△ 3,300,000	
印刷費	7,486,000	5,270,000	△ 2,216,000	
印刷製本費	46,895,000	46,895,000	0	
賃借料	3,841,000	3,313,000	△ 528,000	
表彰費	13,313,000	1,838,000	△ 1,475,000	
旅費	2,302,000	1,683,000	△ 619,000	
租税公課	20,960,000	20,530,000	△ 430,000	
フットワーク活動費	5,921,000	5,921,000	0	
役員報酬	1,510,000	1,510,000	0	
手数料	2,698,000	2,620,000	△ 78,000	
研修研修外費	582,000	882,000	△ 300,000	
庶務交通費	1,274,000	1,588,000	△ 314,000	
庶務雑費	1,240,000	1,440,000	△ 200,000	
材料等研究会費	10,216,000	10,168,000	△ 48,000	
雑費	13,135,000	14,274,000	△ 1,139,000	
雑費	7,538,000	7,497,000	△ 41,000	
事業費計	609,250,000	646,411,000	△ 37,161,000	
管理費	18,275,000	20,043,000	△ 1,818,000	
給与手当等	1,581,000	1,757,000	△ 1,206,000	
退職給付費用	2,851,000	2,851,000	0	
事務所管理費	3,386,000	3,672,000	△ 286,000	
会費・会費徴収	244,000	246,000	△ 2,000	
庶務交通費	1,706,000	1,730,000	△ 24,000	
庶務雑費	1,510,000	1,588,000	△ 78,000	
消耗品費	960,000	1,231,000	△ 271,000	
経費雑費	8,000	1,196,000	△ 236,000	
庶務費	42,000	42,000	0	
庶務新費	786,000	282,000	△ 504,000	
賃借料	117,000	107,000	△ 10,000	
租税公課	1,658,000	1,658,000	0	
雑金	11,380,000	11,730,000	△ 350,000	
手数料	340,000	382,000	△ 22,000	
研修研修外費	58,000	108,000	△ 50,000	
庶務交通費	100,000	100,000	0	
庶務費	150,000	100,000	△ 50,000	
システム費	572,000	638,000	△ 66,000	
管理費計	45,067,000	50,174,000	△ 5,113,000	
経常	△ 238,224,000	△ 38,697,000	△ 19,447,000	
経常増減等合計	0	0	0	
経常増減率	0	0	0	
経常増減率の部	△ 23,224,000	△ 35,971,000	12,447,000	
2. 経常外収益				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常経外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 23,224,000	△ 35,971,000	12,447,000	
一般正味財産増減率	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
当期正味財産増減率	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
指定正味財産増減率の部	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産増減率	0	0	0	
指定正味財産増減率の部	0	0	0	
正味財産増減率	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	0	0	0	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部	639,150%	617,543,500%	1,307,150%	
正味財産増減率の部				